

漆藝家 小西寧子 監修
蒔絵螺鈿化粧筆「燦」のご案内



資生堂アートハウスでは、当館が主催した第一期「工藝を我らに」(2015-2017)メンバーの漆藝家、小西寧子に監修を依頼し、蒔絵螺鈿化粧筆「燦」(さん)を限定発売いたします。

本品は、「工藝を我らに」展の開催に併せ、展覧会の趣旨である、美しく、確かな技術で制作された工藝品を身近で用いることによって得られる喜びを分かち合い、また、資生堂が目指す「美しい生活文化」の提唱を広く知っていただくために企画されました。

化粧筆の軸は伝統的な漆工藝の技術を身につけた職人によって制作され、朱漆と緑漆の2色があります。共に、金蒔絵と螺鈿(らでん: 貝の真珠層を使用)による輝かしい装飾が施され、筆先は永い年月のご愛用に応えるために交換が可能です。また、人工毛の採用は、動物愛護の精神に基づく弊社の方針に因るもので、獣毛に劣ることの無い上質の使い心地をお楽しみいただけることと存じます。

この化粧筆が皆様の日常に彩りを添え、豊かな時間をご提供できれば幸いです。

■蒔絵螺鈿化粧筆「燦」(さん)

デザイン監修：小西寧子

価格：18,000円(税込)

柄：天然木に漆、蒔絵・螺鈿

筆：人工毛

色：赤、緑の2色

寸法：長さ15.5cm、軸直径約1.3cm

※フェイスパウダー、チークの双方にお使いいただけます。

※筆の部分は交換可能です(有料)。



■販売場所

1. 資生堂アートハウス ミュージアムグッズコーナー

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合その翌日）

- ・現金のみとさせていただきます。

2. 通信販売

資生堂アートハウスへお問い合わせください。

TEL：0537-23-6122

Mail：art-house@to.shiseido.co.jp

- ・お支払方法は郵便振込のみとなります。
- ・ご入金を確認後、商品をお送りいたします。お届けまでに約1週間かかります。
- ・お申込み後1ヶ月以上ご入金を確認できない場合、注文を取り消させていただきます。

資生堂アートハウス

TEL. 0537-23-6122 FAX. 0537-23-6315

e-mail: art-house@to.shiseido.co.jp

〒436-0025 静岡県掛川市下俣 751-1

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合その翌日）

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

ホームページ：<https://www.shiseidogroup.jp/art-house/>

参考資料

■小西寧子（こにし やすこ） 略歴

- 1968年 奈良市に、漆藝家・北村昭斎の長女として生まれる
1993年 「日本伝統工芸近畿展」に初入選
2001年 「日本伝統工芸近畿展」で近畿支部奨励賞受賞、松下美術苑 真々庵
（現・松下 真々庵）買い上げ
2002年 「日本伝統工芸展」に初入選
2004年 「日本伝統漆芸展」に初入選
2006年 文化庁文化財（美術工芸品）修理技術者講習会修了
2009年 個展「小西寧子漆芸展」（ギャラリーきのわ／奈良）
2011年 「日本伝統工芸近畿展」で奈良県教育委員会教育長賞受賞
2012年 「国際漆芸玩飾展」（QIAO GALLERY／北京）に出品
2013年 「北村繫・小西寧子二人展」（大阪高島屋）に出品
（株）川島織物セルコン袋帯「優花彩菱」、「麗花段文」の帯用装身具を制作
2015-2017年 第一期「工藝を我らに」（資生堂アートハウス）に出品、創設メンバーとなる

現在

日本工芸会準会員、漆工史学会会員

■「工藝を我らに」出品作品



「ロシア人形茶器」 2017年



「濃緑螺鈿箱」 2014年

■展覧会「工藝を我らに」について

2015年から2017年にかけて資生堂アートハウスで開催された第一期「工藝を我らに」は、上質の工芸品を私たちの生活に取り戻し、使うことによって得られる喜びを提唱するための試みとして開催された展覧会です。

十四代 今泉今右衛門（陶藝）、内田鋼一（陶藝）、松島 巖（ガラス工芸）、小椋範彦（漆藝）、小西寧子（漆藝）の5名が毎年新作を発表し、当館所蔵の工芸品や骨董、工業製品も交えたさまざまな道具類と取り合わせながら、四季折々の場面の再現や、用い方、楽しみ方を展示の場を通じて提案しました。

2018年9月11日（火）から11月25日（日）には、第一期出品作品を中心に構成した展覧会「工藝を我らに セレクション」を開催いたします。